
ハンズオン Step1:

基本スキル構築

目次

目次	2
【Step1】 基本のスキルを構築する	4
Step1 のゴール	4
Step1 で作る対話モデル	4
スキルの新規作成	6
テスト	15

【Step1】 基本のスキルを構築する

Step1 のゴール

Step1 では APL を適用する前の基本スキルを構築します

以下のことができるようになります。

- 音声のみの通常スキルが作れるようになる

Step1 で作る対話モデル

USER 「Alexa, 応援メッセージ」

ALEXA「応援メッセージスキルです。色々頑張りすぎてクタクタになっているスタッフに応援メッセージを送ってあげましょう。おんせんさん、しょうさん、せーのさんの、どなたを応援しますか？」

USER 「しょうさんを応援します」

ALEXA「しょうを応援ですね。ありがとうございます。あなたのお名前は何というのですか？下の名前だけで結構ですので教えてください。」

USER 「つよしです」

ALEXA「つよしさんですね。それではしょうに応援メッセージを送ります。これで疲れも吹っ飛びますね。ありがとうございました！」

ポイント

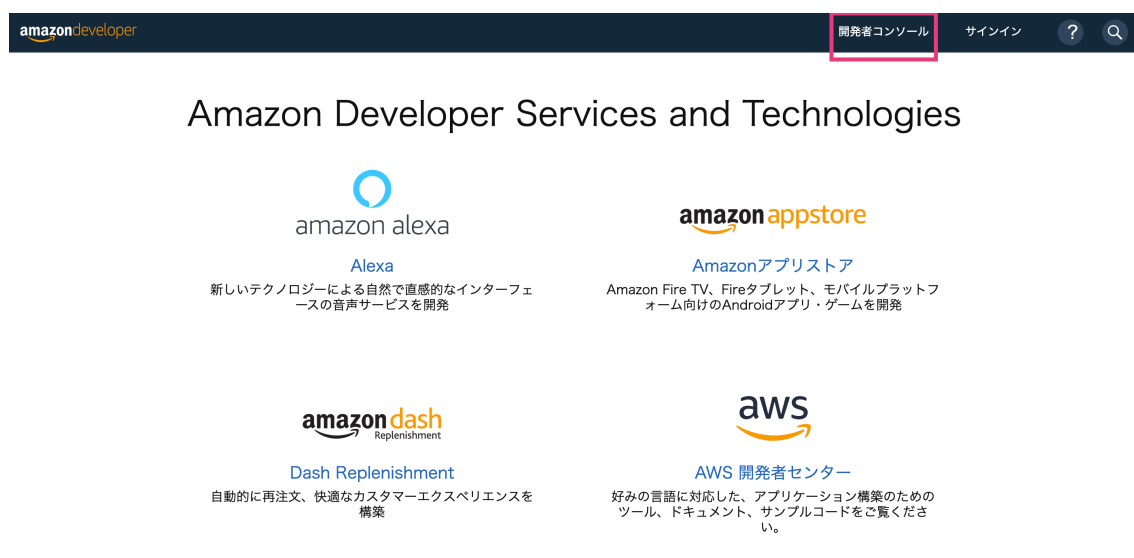
- Alexa-hosted 機能を利用し、手軽にスキルを作成する

スキルの新規作成

1. Web ブラウザ (**Firefox** または **Chrome**)で開発者ポータルへアクセスしてください。

URL: <https://developer.amazon.com/ja/>

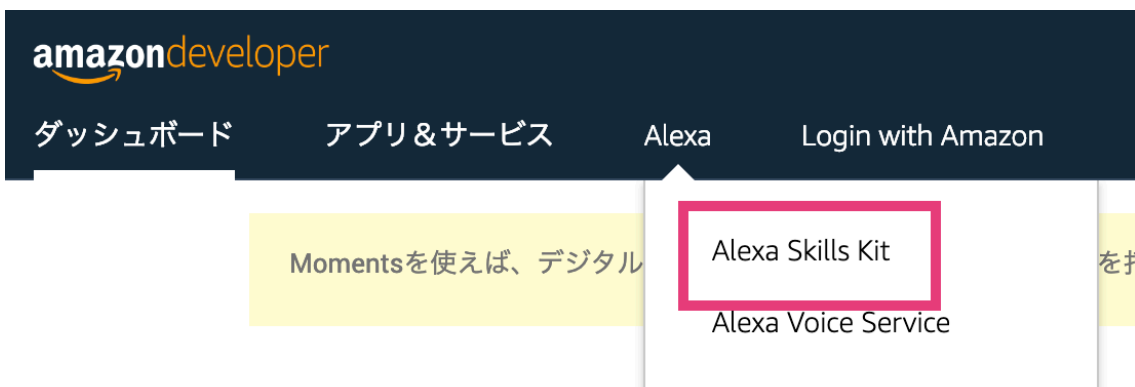
2. 「開発者コンソール」のリンクをクリックしてください。



3. ログインページにてお手持ちの **Amazon.co.jp** アカウントでログインしてください。



4. 「Alexa Skills Kit」をクリックしてください。



通知

5.スキル一覧の画面が表示されたら「スキルの作成」をクリックしてください。



6.スキル名に「応援メッセージ」と入力し、「デフォルトの言語」を「日本語」に変更します。

7.「スキルに追加するモデルを選択」にて「カスタム」を選択します。

新しいスキルを作成

スキル名

応援メッセージ 7/50

デフォルトの言語

日本語(日本) ▼

作成後に言語を追加することもできます。

スキルに追加するモデルを選択

自分だけのカスタムモデルを設計したり、プリビルドモデルを使用したりなど、さまざまな方法でスキルの作成を始められます。プリビルドモデルとは、インテントと発話のパッケージを含み、スキルに追加できる対話モデルです

カスタム

ユニークなスキルを作成しましょう。カスタムモデルでスキルの対話をすべて作成できます。

選択済み

フラッシュブリーフィング

ユーザーが自分のニュースフィードを管理できます。このプリビルドモデルを使用すると、聞きたいコンテンツを自分で管理できるほか、ジャンル別にトピックを検索できます。

スマート ホーム

ユーザーが自分のスマートホームデバイスを管理できます。このプリビルドモデルを使用すると、照明やその他のデバイスの電源を座ったままオフにできます。

2019/03/01

8. 「スキルのバックエンドリソースをホスティングする方法を選択」にて「Alexa がホスト」を選択します。

スキルのバックエンドリソースをホスティングする方法を選択

バックエンドリソースをセルフホストすることも、Alexaにホストさせることもできます。Alexaにホストさせる場合は、コードエディターを使用できるようになります。コードエディターを使用すると、開発者コンソールから直接AWS Lambdaにコードをデプロイできます。

セルフホスト

スキルの強化にユーザーのAWS Lambdaまたは他のHTTPSエンドポイントを使用します。

Alexaがホスト - ベーシック

AWSの無料枠の上限枠までAlexaがスキルをホスティングします。AWS Lambdaエンドポイントへのアクセス、メディアストレージ5GB、毎月のデータ転送量15GB、セッション永続性用のテーブルを利用できます。詳しくはこちら

Japanese (日本語)

© 2010 - 2018, Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved. 無断複写・転載

9. 「スキルの作成」をクリックします。

新しいスキルを作成

キャンセル

スキルを作成

スキル名

応援メッセージ

7/50

デフォルトの言語

日本語(日本)

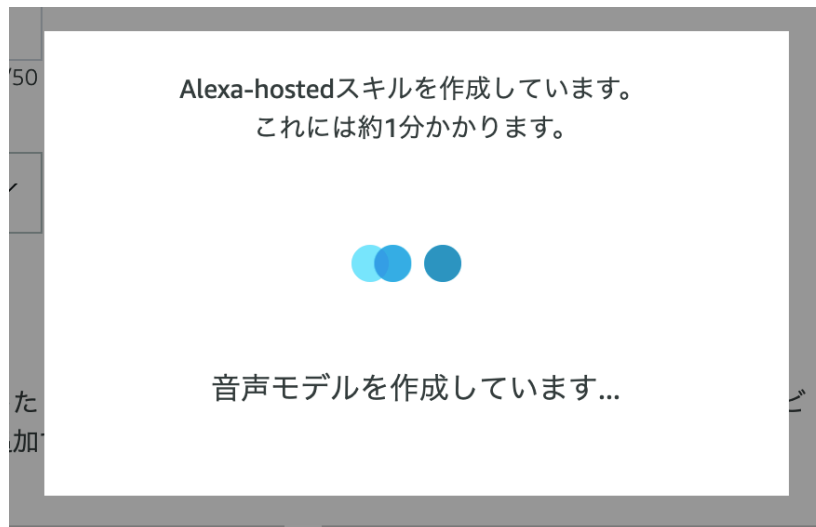


作成後に言語を追加することもできます。



classmethod

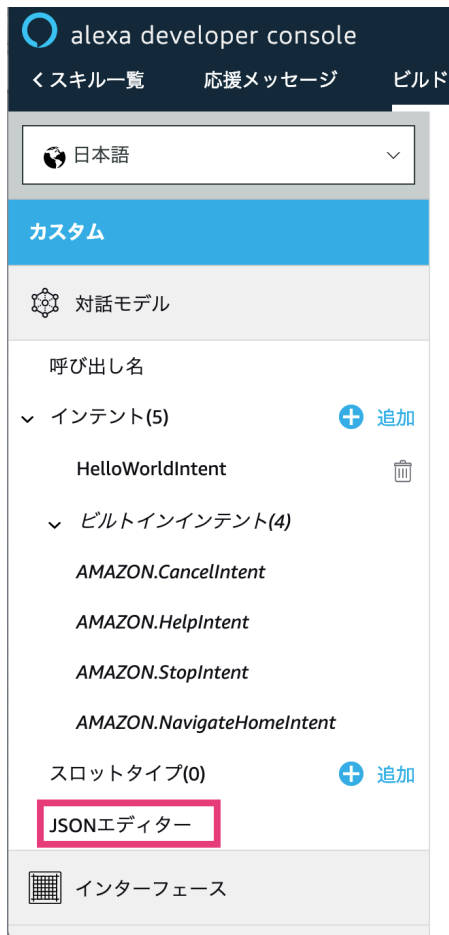
※バックエンドの環境を構築するのに 1 分ほどかかるので待ちます。



10. スキルの開発画面が表示されます。



11. 「JSON エディター」をクリックします。



12.ダウンロードしたハンズオン資料より STEP1 -> skill.json のファイルを開き、エディターにコピー&ペーストするか、ファイルごとドラッグ&ドロップします。

※日本語が文字化けしている方は skill-shift-jis.json を開くか、エディターの文字コードを「UTF-8」にして skill.json を開いてみてください。

JSONエディター

対話モデルのスキーマ定義の詳細については、[ここをクリック](#)してください。

.jsonファイルをドラッグ&ドロップ

```

1 {
2   "interactionModel": {
3     "languageModel": {
4       "invocationName": "応援メッセージ",
5       "intents": [
6         {
7           "name": "AMAZON.CancelIntent",
8           "samples": []
9         },
10        {
11          "name": "AMAZON.HelpIntent",
12          "samples": []
13        },
14        {
15          "name": "AMAZON.StopIntent",
16          "samples": []
17        },
18        {
19          "name": "CheerIntent",
20          "slots": [
21            {
22              "name": "staff",
23              "type": "Text"
24            }
25          ]
26        }
27      ]
28    }
29  }
30 }

```

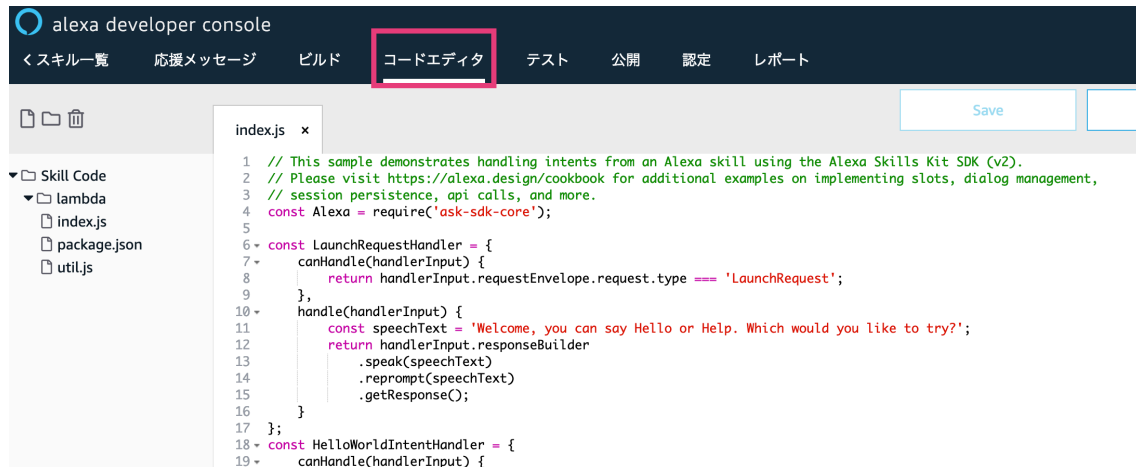
13.画面上部にある「モデルを保存」をクリックし、横の「モデルをビルド」をクリックします。
ビルドには数分かかりますので、少し待ちます。



JSONエディター

対話モデルのスキーマ定義の詳細については、[こ](#)

14. 上部メニューより「コードエディタ」をクリックし、Lambda のコード画面を表示します。



15. ダウンロードしたハンズオン資料より STEP1 -> lambda -> index.js のファイルを開き、画面内の index.js ファイルにコピー&ペーストします。

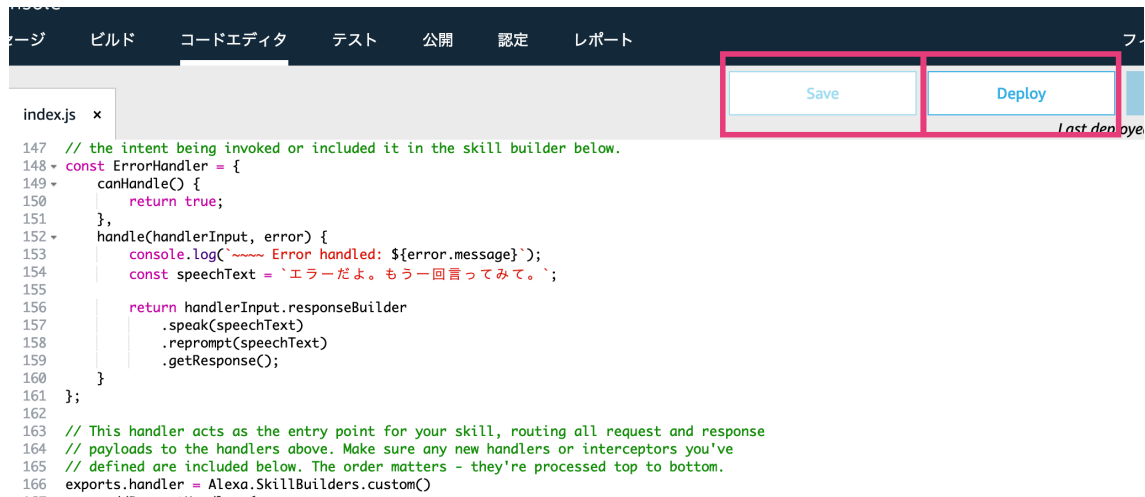
※コピーしたコードと現在のコードを入れ替えます。「追記」ではなく、現在のコードを消して上書きしてください。以下ハンズオン資料にて「コピー&ペースト」の記述は「上書き」を示します。

※日本語が文字化けしている方は index-shift-jis.js を開くか、エディターの文字コードを「UTF-8」にして index.js を開いてみてください。

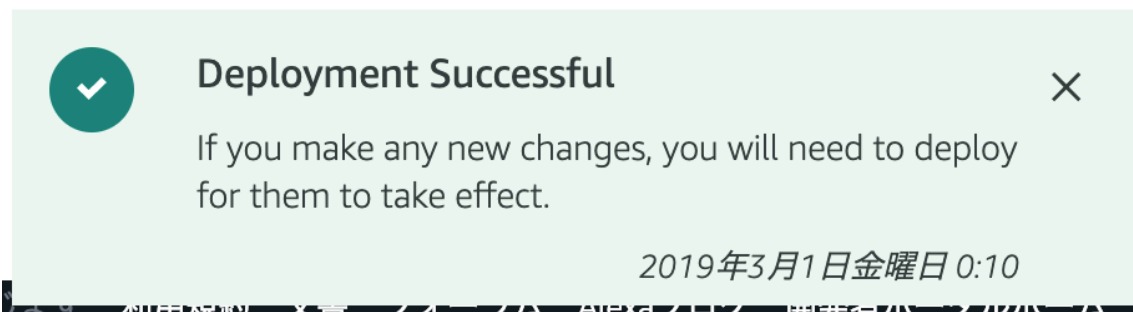


16. 画面右上部にある「Save」をクリックし、その横にある「Deploy」をクリックします。

デプロイには数十秒かかるので、少し待ちます。



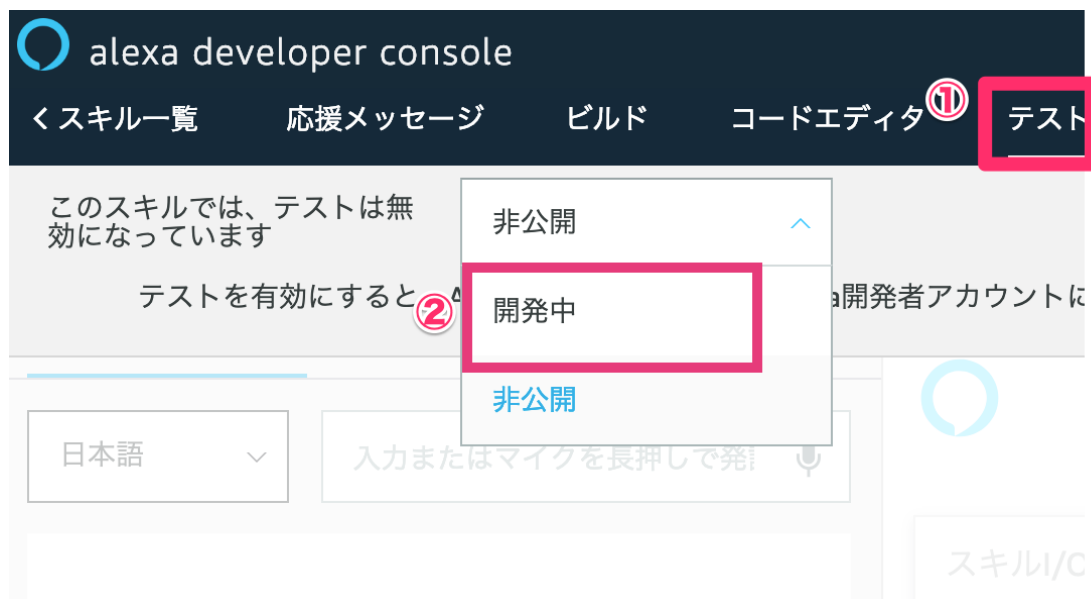
※ 画面右下に「Deploy Successful!!」のメッセージが出たらデプロイ完了です。



これでスキルの構築は完了です。テストしてみましょう。

テスト

1. 開発者コンソールより「テスト」を開き「開発中」を選択します。これでテストシミュレーターが使えるようになります



2. 「応援メッセージ」でスキルを開いて、動いているかどうか確認しましょう。



alex developer console

スキル一覧 応援メッセージ ビルド コードエディタ テスト 公開 認定 レポート

スキルテストが有効になっているステージ: 開発中

スキル/O Device Display デバイスのログ

Alexaシミュレータ JSONエディタ 音声と語調

日本語 入力またはマイクを長押しで発!

応援メッセージ

応援メッセージスキルです。色々頑張すぎてクタクタになっているスタッフに応援メッセージを送ってあげましょう。おんせんさん、しょうさん、せーのさんの、どなたを応援しますか?

しょうさん

しょうを応援ですね。ありがとうございます。あなたのお名前は何かというのですか? 下の名前だけで結構ですので教えてください。

スキル/O

JSON入力

```
1 {
2   "version": "1.0",
3   "session": {
4     "new": false,
5     "sessionId": "amzn1.echo-api.session.d4ca4980-
6     "application": {
7       "applicationId": "amzn1.ask.skill.84444176
8     },
9     "attributes": {
10      "staff": "しょう",
11      "staffval": "しょう"
12    },
13    "user": {
14      "userId": "amzn1.ask.account.AG457NT2WONON
15    }
16  },
17  "context": {
18    "System": {
19      "application": {
20        "applicationId": "amzn1.ask.skill.8444
```